

2020 年度事業報告書

(認定/埼玉県指定)特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN

事業実施の方針 および 実施概要

・アジア特にラオスおよびネパールの人々の経済的自立を促進するため、教育支援・職業訓練・農村開発等の海外協力事業を実施することに努力したが、コロナ過のため在外日本人職員の一時帰国が長引き、オンライン操作でラオス事業を乗り切るのが精いっぱいだった。
 ・運営体制の強化、財政基盤の強化、事務局体制の強化についてはタスクホースを立ち上げ中期計画を実施する努力をした。特に広報活動には理事・職員がJICAオンリーワン研修に参加して会の基本を整理・見直し、一時帰国の職員の努力もあってホームページの改善、ブログの活発化を行った。

1. 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日・実施場所・その他詳細 |
|---------------|---|--|
| (1) 国際協力事業 | IV奨学金支給: ①カノック奨学金支給 日本全国より奨学金ドナーを募り、ラオスの職業訓練生74名に奨学金を支給し、教育の底上げに寄与した。 | 実施日時: 通年 実施場所: ラオス 従事者の人数: 2名 受益対象者の範囲及び人数: ラオス74名(職業訓練生) |
| | ②チャンパー山の民奨学金支給 日本全国より奨学金ドナーを募り、ホスピタリティ・介護職業訓練に参加する訓練生15名に生活費として支給し、今まで生活費が賸えず職業訓練に参加できなかった貧困層に教育の機会の拡充に寄与した。 | 実施日時: 通年 実施場所: ラオス 従事者の人数: 3名 受益対象者の範囲及び人数: ラオス15名(職業訓練生) その他詳細: ドナーに対して、サンクスレター集を発送した。 |
| (2) 国際協力事業 | ラオス木工職業訓練校における教育レベル向上プロジェクト (JICA草の根パートナー事業3年目) VEDIの教員と学生に対し、継続して家具の制作指導を行った。また、今年度新たな取組として、木工の技術動画を製作し、Youtubeへのアップロードを開始した。VEDIからは、今までになかった取り組みであるとし、高く評価された。 | 実施日時: 2020年1月～2021年1月 実施場所: ラオス 従事者の人数: 8名 受益対象者の範囲及び人数: 22名 (VEDI木工教員2名、県職業教育校木工教員10名、ラオス家具協会4名、VEDI 学生6名) |
| (3) 国際協力事業 | 地方の女性・青年の就業促進のためのホスピタリティ・介護職業訓練 (外務省NGO連携支援無償資金協力事業2年目): 第1期ホスピタリティ研修3カ月、介護研修3カ月を実施した。15名が修了し、6名のホテルのインターンシップ研修中。2名が補助トレーナーとして残留。4名がハウスキーパーや家庭内介護職、3名が介護会社の面接中。コロナ禍で訓練が半年遅れ、予定していた第2期の実施ができなく、第3年次に延期された。 第2期生の募集を行い、シェンクワン県、ルアンプラバン県、ビエンチャン県、ビエンチャン特別市、サバナケット県、チャンパサック県から計23名が研修を受けることとなった。 | 実施日時: 2020年3月～2021年2月 カウンターパート: ナーサイトン郡教育課 実施場所: ラオス ビエンチャン都ホスピタリティ・介護職業訓練センター(ナーサイトン郡職業訓練所) 従事者の人数: 7名 受益対象者の範囲及び人数: 15名(訓練生) |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日・実施場所・その他詳細 |
|--------------------|--|--|
| (4) 国際協力事業 | ラオス教育支援事業(伊藤裕子基金、他) コロナ禍で実施できず。 | 実施日時:2020年4月～2021年3月 実施場所:ラオス 従事者の人数:3名 受益者の対象者の範囲及び人数:未定 |
| (5) 国際協力事業 | マイクロファイナンス事業(夢屋基金): ラオス職業訓練所上級コース卒業生3名に対し、小規模資金を貸し付けた。 | 実施日時:2020年4月～2021年3月 実施場所:ラオス 従事者の人数:3名 受益者の対象者の範囲及び人数:新規債務者3名(3名とも縫製コース) |
| (6) 国際協力事業 | ネパールIV事務所開設準備: コロナ禍で職業訓練事業の具体的な進捗はなし。 | 実施日時:通年 実施場所:日本、ネパール 従事者の人数:2名 受益者の対象者の範囲及び人数:未定 |
| (7) 国際協力事業 | IVラオ日文化事業: コロナ対策として2020年3月に富永が緊急帰国したが、その後ラオスへの渡航が叶ったのが2021年2月28日だった為、2021年3月に1回のみ茶道教室を実施。 | 実施日時:通年 実施場所:ラオス ビエンチャン 従事者の人数:2名 受益者の対象者の範囲及び人数:ラオス人、外国人および日本人 |
| (1) 国際理解・開発教育事業 | 大学生インターン、スタディツアー、ボランティア受入: 高崎経済大学がコロナ禍のためスタディツアーのラオス派遣に代わり、ラオス(富永、圓谷)とオンライン授業を3時間実施した。 | 実施日時:通年 実施場所:ラオス、日本 従事者の人数:3名 受益者の対象者の範囲及び人数:10名 |
| (2) 国際理解・開発教育事業 | ボランティアとの協働(国内各種イベント出店): 新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定されていた国内イベントが軒並み中止となった。 | 実施日時:通年 実施場所:日本(主に埼玉県と東京都) 従事者の人数:1名(その他ボランティア) 受益者の対象者の範囲及び人数:なし ボランティア参加者および来場者:なし |
| (3) 国際理解・開発教育事業 | 第22回IVスタディツアー(ラオス): 新型コロナウイルス発生の影響からラオスに渡航するための手段がなく、実施できなかった。 | 実施日時:通年 実施場所:ラオス 従事者の人数:2名 受益者の対象者の範囲及び人数:10名(スタディツアー参加者) |
| (4) 国際理解・開発教育事業 | アジア文化理解講座: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント実施できず。 | 実施日時:通年 実施場所:日本(主に埼玉県) 従事者の人数:1名 受益者の対象者の範囲及び人数:講座参加者 |

| 事業名 | 事業内容 | 実施日・実施場所・その他詳細 |
|------------------------------------|---|---|
| NPO/NGO /大学ネット ワーキング促 進事業 | 1. NPO法人 埼玉NGOネットワーク:団体会員 2. (特活)国際協力NGOセンター(JANIC):正会員 3. さいたま市国際NGOネットワーク:団体会員 4. Laos INGO Network(ラオス):正会員 5. アジア・コミュニティ・トラスト:登録団体 6. さいたま市大宮区市民活動ネットワーク 7. 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク:監事団体 | 実施日時:通年 実施場所:日本全国、ラオス 従事者の人数:2名 |
| その他(1) | タスクフォースを3回開催し、運営体制の強化、財政基盤の強化、事務局体制の強化等についての協議を行い、理事会に助言した。 | 実施日時:通年 実施場所:日本事務所 タスクフォースの人数:8名 受益者の対象者の範囲及び人数:理事13名 |
| その他(2) | 広報紙発行・活動報告、他: 会員及び一般市民に対する広報活動 1. IVニュース(3回発行) 2. ホームページ(年数回更新) 3. ブログを理事、事務局が毎週発信 4. NHKラジオ深夜便ラオスレポート(富永年4回) 5. NHKラジオ「マイあさ」ラオスレポート(富永年5回) | 実施日時:通年 実施場所:日本事務所、ラオス事務所 従事者の人数:5名 受益者の対象者の範囲及び人数: 会員、ホームページ閲覧者、イベント来場者、ラジオ視聴者、その他 |

2. 収益事業 なし